

生育状況に応じた「排水対策」・「雑草防除」・ 「適期追肥」で、単収増を目指しましょう！

令和7年2月
東讃農業改良普及センター
東讃農業改良普及協議会

1. 排水対策の徹底

湿害を回避するために排水溝の点検を行い、必要に応じて土入れで排水溝の補修をしましょう。



土入れによる排水溝の補修

- ・土入れは土壌が乾いた状態で、茎立ち期までに実施します。
- ※茎立ち期：麦の茎の節間長が2cmに達した頃。
- ・追肥後に行うと、追肥の効果が増大し効果的です。倒伏防止や、発生初期の雑草の除草効果もあります。

2. 追肥

肥切れによる黄化や湿害がみられる場合は、早めに追肥をしましょう。

区分	時期と10a当たり施肥量 (窒素成分14%の速効性肥料の場合)	
	生育が順調な場合	黄化、肥切れ、湿害による生育不良が見られる場合
さぬきの夢 2009 (小麦)	2月下旬～3月上旬 砂質田25kg(粘質田30kg)	2月中旬 砂質田30kg(粘質田35kg)
はるみずき (パン用小麦)	3月上旬 20kg(土壌区分：共通)	2月下旬 20kg(土壌区分：共通)
はるか二条 (二条大麦)	3月上旬 15kg(土壌区分：共通)	2月下旬 15kg(土壌区分：共通)

小麦の肥切れ症状



※葉色が全体に薄く、葉や茎の一部が紫色になる。

※追肥をしても生育が戻らない時は、酸性障害の可能性があるので、ご相談ください。

3. 中期雑草防除

早播きや初期除草剤の散布が遅れた等で雑草が繁茂している場合は、除草剤を散布しましょう。気象庁の予報では、2月の気温はほぼ平年並みで、降水量は平年並みか少ない見込みですが、生育の進み具合をよく観察して、適期を逃さないように作業を進めましょう。

薬 剤	対象雑草名	使用時期/回数	10a当たり 使用量
ハーモニーDF	一年生広葉雑草及びスズメノテッポウ	麦3葉期～節間伸長前(スズメノテッポウ5葉期まで)／1回	5～10g (水 100ℓ)
エコパートフロアブル	一年生広葉雑草	節間伸長開始期まで(一年生広葉雑草2～4葉期)(ただし、収穫45日前まで)／2回以内	50～100mℓ (水 100ℓ)
バサグラン液剤	一年生雑草(イネ科を除く)	生育期(ただし小麦は収穫45日前まで、 はるか二条は収穫90日前まで)／1回	100～200mℓ (水 70～100ℓ)
MCPソーダ塩	一年生及び多年生広葉雑草	幼穂形成期(ただし、収穫45日前まで)／1回 分げつ抑制作用があるため、茎葉が十分確保されてから散布する暖かい日が続く時期に散布すると、除草効果が高い	200～300g (水 70～100ℓ)

※1 除草剤を散布後、雑草が多い場合に再度散布する時は、麦への影響を見ながら1週間以上間隔をおいて使用する。

※2 ハーモニーDF、エコパートフロアブルはカラスノエンドウに効果が劣るので、MCPソーダ塩等の使用を検討する。

※3 エコパートフロアブルは散布後、軽微な白斑・褐斑を生じることがあるが、その後の生育・収量に影響はない。



スズメノテッポウは、5葉期まで(写真は4葉半)



ヤエムグラに対する効果は高い。2～6節期まで(写真は3節)



カラスノエンドウは、発生揃い～遅くとも5葉期まで